

2025年3月6日



株式会社東日本放送(本社・仙台市太白区)は、2025年3月11日(火)に、岩手・宮城・福島ANN3局共同制作「震災14年 あの日のこどもたちは」を放送します。

2011年3月11日、当時は幼かったこどもたちが、14年の月日を経てそれぞれの記憶を胸に“あの時があったからこそ”選択した人生を歩んでいます。『あの日のこどもたち』が今何を思い、何を感じ、どんな壁に直面しているのか。ジャーナリストの柳澤秀夫さん(福島・会津若松市出身)が岩手・宮城・福島で取材しました。

#### ◆岩手 津波から避難したあの日 伝承施設で語り続ける

釜石市で出会ったのは、当時中学生だった女性。日頃の防災学習や訓練のおかげで、津波から逃れることができました。高校卒業後は山梨の大学に進学しましたが、卒業と同時にUターン就職。今は市内の震災伝承施設で、訪れる人たちに当時の様子を伝え続けています。故郷の語り部として生きる、彼女の思いに迫ります。



## ◆宮城 大川小の「奇跡の少年」 母校の隣に交流拠点を

児童・教員合わせて84人が犠牲となった、石巻市の大川小学校。助かった男性は「奇跡の少年」と報じられ、注目されてきました。そのことに葛藤を抱えメディアから距離を置いたことも。

今は震災遺構となり、多くの人たちが訪れる母校。その隣で交流拠点を作るプロジェクトを始めた、男性の活動を取材しました。



## ◆福島 故郷に戻り働く町職員 自宅解体して次への一步

双葉町では、町の職員として働く女性を取材。福島第一原発の事故により、小学4年生の時に避難を余儀なくされました。震災から14年を迎えて、帰宅困難区域にある自宅はまもなく解体が始まります。思い出が詰まった場所がなくなることに、悲しみを感じながらも次への一步を進もうとしています。



- ◆番組名 岩手・宮城・福島 ANN3局共同制作  
「震災14年 あの日のこどもたちは」
- ◆放送日時 2025年3月11日(火) 午後2時53分～
- ◆放送エリア 宮城県・岩手県・福島県ローカル
- ◆出演 柳澤秀夫(元NHK解説委員)・鈴木奏斗(khbアナウンサー)  
今井悠貴(IATアナウンサー)・高橋ひかり(KFBアナウンサー)

【問い合わせ】

株式会社東日本放送 広報宣伝部 TEL: 022-304-3015 MAIL: koho@khh-tv.co.jp